

(様式1)

福祉サービス評価結果表

①福祉サービス評価等機関名

佐賀県福祉サービス評価・調査センター

②福祉サービス事業者情報（詳細な情報については、別紙1）

| | |
|---------------------|--------------------|
| 名称：しみず園 | 種別：救護施設 |
| 代表者氏名：理事長 井上 克己 | 定員（利用人数）： 110 人 |
| 所在地：佐賀県多久市多久町2016-1 | Tel (0952) 75-6990 |

③訪問調査日

平成22年4月22日（木）

④総評

◇特に評価の高い点

平成19年4月新築移転された施設は、従来の福祉施設のイメージにとらわれないパブリック・スペースとプライベート・スペースを分け自然素材を多用し、明るく掃除の行きとどいた清潔な環境である。また、デザインにもこだわり、十分な機能を備えた空間となっている。利用者本位の施設を目指して、施設内構造改革の取り組みが始められその結果が着実に表れてきている。例えば、利用者にとって毎日の食事は、生きる糧であり生きる喜びであることから、献立を選択メニューにしたり、カフェテラス方式の食事支援をする等の工夫が行われている。入浴においては温泉旅館のような大浴場であり、施設にいながら展望浴場でのヒノキの香りにつつまれた入浴が楽しめる。居室は個人のプライバシーに配慮した構造になっており、清潔でシンプルな木製のベットや畳の居室もある。医療面では地域の医療機関との連携を取りながら、施設内でリハビリを受けることができ、歯科治療は往診を受けることができる。施設内での自立支援活動の一環に、利用者の自治活動がある。利用者の自治活動は自主性を重視し、利用者のピア・カンファレンス効果を支援しながら、意見をくみ上げる場ともしている。余暇活動においては、平均年齢が63.3歳と高く生きがい対策やリハビリ効果を含め、活発に行われている。施設行事には自治会の代表が参画し、三大祭りを通して、地域の住民との交流を積極的に深めている。人事管理について、人事考課を導入することで職員の能力や意欲を高める工夫をしている。功労者には奨励し、給与面において職員の納得できる額となることを努力している。福利厚生には職員の意向を聞きながら積極的に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

多様な利用者が入所されている中で、個別的な利用者支援を実施されているが、利用者のエンパワメントの理念に基づいたさらなる支援プログラムの策定が求められる。サービスの質の向上に対する職員の積極的な意欲は認められるが、より利用者の自己選択、自己決定が可能になる取り組みを進めるためにも個別的な利用者理解の工夫を期待する。その為にも、方針や政局の変動にも利用者なりの判断ができるよう情報提供と、伝える工夫や利用者中心福祉サービスを追求する際に、利用者の満足度について、第三者の客観的な聞き取り等を調査方法として取り入れることなどを期待する。

⑤福祉サービス評価結果に対する事業者のコメント

今回、福祉サービス第三者評価を通して、現状のサービスの振り返りをすることができました。一部の評価項目については、救護施設という性格上、他の福祉施設と同様の評価項目や着眼点がなじまないのではないか、ということも感じました。しかしながら、この第三者評価の結果を受け止め、しみず園として取り組むことができるものに関しては、評価項目の着眼点等を参考に取り組んでいきたいと思えます。また、中長期計画に関しては、さっそく取り組んでいきたいと考えています。

⑥各評価項目に係る福祉サービス評価結果
(別紙2・3)